施工説明書

INAX

# 洗面化粧台

## L.C.〈エルシィ〉システムタイプ

●カウンター
LCV-500

●ベースキャビネット
LCVN-755、LCVH-755、LCVFO-755、LCVFH-755、LCVDH-755
LCVN-905、LCVH-905、LCVFO-905、LCVFH-905、LCVDH-905
●サイドベースキャビネット
LCVH-155、LCVFO-155
LCVH-255、LCVFO-255
LCVH-305、LCVFO-305
LCVH-455、LCVFO-455、LCVDH-455

## 施工される前に

**●施工に際しては必ずこの施工説明書に従い正しく施工してください。**
**※この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますので十分ご注意ください。**
**※水栓金具、電気温水器については、それぞれ付属の施工説明書に従い正しく施工してください。**
**●「保証書（取扱説明書裏表紙）」は貴店名、取付日を忘れずに記入の上、必ずお客さまにお渡しください。**
**●施工段階での欠陥工事は、製造物責任法に基づき、二次責任が問われる場合がありますことを十分にご認識いただき、お客さまが安全で快適にご使用できるようご協力ください。**
**●付属部品の内容と数量が合っていることを確認してください。**

## ■付属部品

### カウンター

| 品番 | LCV-500 | |
|---|---|---|
| | サイドベース付プランの場合 | サイドベースなしプランの場合 |
| L金具 | 8個 | 4個 |
| L金具固定用ねじ（キャビネット用 トラスφ4.0×12mm） | 24本 | 12本 |
| L金具固定用ねじ（カウンター用 トラスφ4.0×20mm） | 8本 | 4本 |
| 施工説明書・取扱説明書 | 各1部 | |

### アッパーキャビネット

| 品番 | LCVU-155C、LCVU-255C LCVU-305C、LCVU-455C LCVU-655C | LCVU-755C LCVU-905C LCVU-1005C LCVU-1205C |
|---|---|---|
| 固定用ねじ（ワッシャー付なべφ4.5×60mm） | 4本 | |
| キャビネット連結用ねじ（トラスφ4.0×30mm） | 2本 | － |

### ミドルキャビネット

| 品番 | LCVK-252C LCVK-302C LCVK-452C |
|---|---|
| 棚板 | 2枚 |
| 棚板受ダボ | 8個 |
| 固定用ねじ（ワッシャー付なべφ4.5×60mm） | 4本 |

### ランドリーキャビネット

| 品番 | LCVKO-652 LCVKO-752 |
|---|---|
| 固定用ねじ（皿φ4.5×60mm） | 4本 |
| 化粧キャップ用連結ワッシャー | 4個 |
| 化粧キャップ | 4個 |

### 対面収納キャビネット

| 品番 | トールキャビネット LCVS-372SA LCVS-372SAN | ベースキャビネット LCVB-752SA |
|---|---|---|
| 棚板 | 2枚 | 2枚 |
| 棚板受ダボ | 8個 | 8個 |
| 固定用ねじ（ワッシャー付なべφ4.5×60mm） | 4本 | － |
| 固定用ねじ（ワッシャー付なべφ4.0×50mm） | － | 4本 |
| キャビネット連結用ねじ（トラスφ4.0×25mm） | 3本 | － |

### ベースキャビネット

| 品番 | 扉タイプ | 引出タイプ | フルオープンタイプ | フルスライドタイプ | ランドリータイプ |
|---|---|---|---|---|---|
| | LCVN-755 LCVN-905 | LCVH-755 LCVH-905 LCVH-1005 LCVH-1205 | LCVFO-755 LCVFO-905 LCVFO-1005 LCVFO-1205 | LCVFH-755 LCVFH-905 LCVFH-1005 LCVFH-1205 | LCVDH-755 LCVDH-905 LCVDH-1005 LCVDH-1205 |
| 固定用ねじ（トラスφ4.0×50mm） | 2本 | 2本 | 4本 | 2本 | 2本 |
| キャビネット連結用ねじ（トラスφ4.0×25mm） | 2本 | 2本 | － | 2本 | 2本 |
| スペーサー | 2個 | 2個 | 2個 | 2個 | 2個 |
| ブラケットセット | | | 間口900、1000、1200のみ 1セット（2個） | | |
| 網カゴ | － | － | － | － | 1個 |

（注）即湯システム付については、即湯システムが別梱包になっています。施工の際は、洗面化粧台と即湯システムの施工説明書をご覧ください。

### サイドベースキャビネット

| 品番 | LCVH-155 | LCVH-255 LCVH-305 LCVH-455 | LCVFO-155 LCVFO-255 LCVFO-305 LCVFO-455 | LCVDH-455 |
|---|---|---|---|---|
| 固定用ねじ（トラスφ4.0×50mm） | 2本 | 2本 | 2本 | 2本 |
| キャビネット連結用ねじ（トラスφ4.0×25mm） | 2本 | | | |
| 取っ手 | 色番がBH2、VS2のみ 1個 | 色番がBH2、VS2のみ 2個 | － | 色番がBH2、VS2のみ 1個 |
| 取っ手取付用ねじ（トラスM4×25mm） | 色番がBH2、VS2のみ 2本 | 色番がBH2、VS2のみ 4本 | － | 色番がBH2、VS2のみ 2本 |
| スペーサー | 1個 | 1個 | 1個 | 1個 |
| ブラケットセット | － | － | 1セット（1個） | － |
| 網カゴ | － | － | | 1個 |

### トールキャビネット

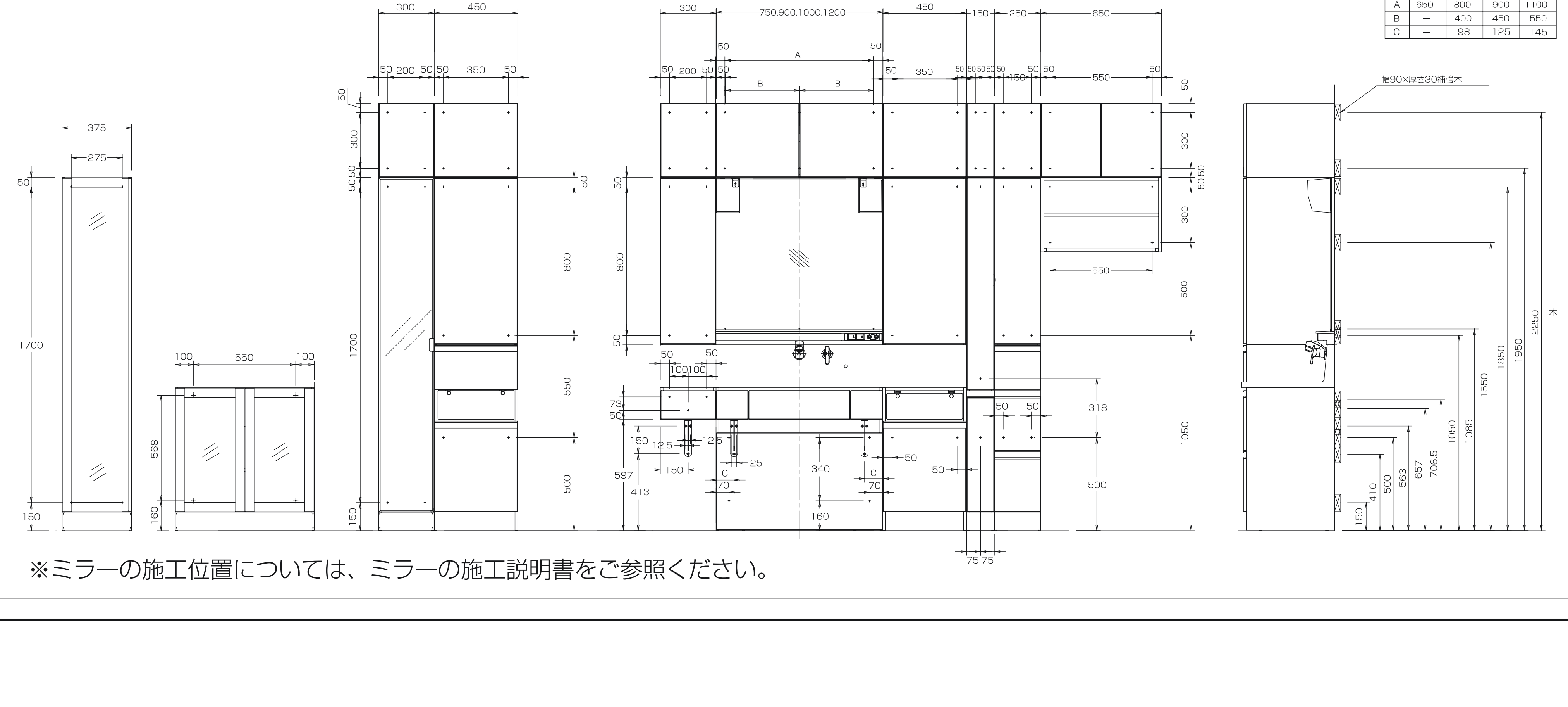
| 品番 | LCVS-155L(R) | LCVS-255L(R) LCVS-305L(R) | LCVS-455DL(R) | LCVS-305ML(R) |
|---|---|---|---|---|
| 棚板 | 3枚（落下防止バー付） | 2枚 | 2枚 | 2枚 |
| 棚板受ダボ | 12個 | 8個 | 8個 | 8個 |
| 固定用ねじ（ワッシャー付なべφ4.5×60mm） | － | 6本 | 6本 | 4本 |
| 固定用ねじ（トラスφ4.0×50mm） | 1本 | － | － | － |
| 固定用ねじ（皿φ4.5×60mm） | 2本 | － | － | 2本 |
| 化粧キャップ用連結ワッシャー | 2個 | － | － | － |
| 化粧キャップ | 2個 | － | － | － |
| キャビネット連結用ねじ（トラスφ4.0×25mm） | 2本 | | | |
| 取っ手 | 色番がBH2、VS2のみ 1個 | 色番がBH2、VS2のみ 3個 | 色番がBH2、VS2のみ 2個 | － |
| 取っ手取付用ねじ（トラスM4×25mm） | 色番がBH2、VS2のみ 2本 | 色番がBH2、VS2のみ 6本 | 色番がBH2、VS2のみ 4本 | － |
| 網カゴ | － | － | 大　1個 | 小　3個 |

### エンドパネル ※キャビネット品番により、使用する固定部材が異なります。

| 品番 | LCVE-035 | 備考 |
|---|---|---|
| キャビネット用　L金具セット | L金具　1個<br>固定用ねじ（パネル用・床固定用）皿φ3.0×16mm　3本 | LCVFO-155、255、305、455のみ使用 |
| 床固定用　L金具セット | L金具　2個<br>固定用ねじ（パネル用）皿φ3.5×14mm　4本<br>固定用ねじ（床固定用）皿φ3.5×30mm　2本 | LCVFO品番のみ使用 |
| 固定用ねじ（皿φ4.0×30mm） | 品番 | LCVN 、LCVH 、LCVFH 、LCVDH品番のみ使用 |

## ■寸法図（単位:mm）

| | 間口 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 750 | 900 | 1000 | 1200 |
| A | 650 | 800 | 900 | 1100 |
| B | － | 400 | 450 | 550 |
| C | － | 98 | 125 | 145 |




※ミラーの施工位置については、ミラーの施工説明書をご参照ください。

●ミドルキャビネット
LCVK-252C,302C,452C
●ランドリーキャビネット
LCVKO-652,752

●トールキャビネット
LCVS-155L（R）,255L（R）,305L（R）,305ML（R）,454DL（R）
●アッパーキャビネット
LCVU-155C,255C,305C,455C,655C,755C,905C,1005C,1205C

●対面収納キャビネット
トール　LCVS-372SA,372SAN
ベース　LCVB-752SA
●エンドパネル
LCVE-035

## 安全のために必ずお守りください

ここでは施工に際して守らないと人身事故や、家財の損害に結びつく注意事項を挙げています。
施工前にこの項目をよくお読みいただき、正しく施工してください。

**●用語および記号の説明**

| | |
|---|---|
| ⚠**警告** | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠**注意** | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |
| | **「　禁　止　」**を表します。 |
| | **「分解禁止」**を表します。 |
| | **「必ず行うこと」**を表します。 |

### ⚠ 警告

**●修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。**
ケガや故障が生じる恐れがあります。
**●ストーブやヒーター等熱を発生するものの近くに設置しないでください。**
変色や変形、火災をおこす恐れがあります。

### ⚠ 注意

**●この説明書に記載されている以外の壁仕様（ALC壁等）の場合は必ず壁の施工のやり直しを行ってください。**
※キャビネットの取付強度が保てず落下する恐れがあります。
**●スライド蝶番の調節後は必ずAねじ、Cねじ、取付ねじが固く締め付けられていることを確認してください。**
※締付けが不足しますと蝶番がゆるみ、扉の外れ、落下によりケガをする恐れがあります。
**●温水を逆に配管しないでください。**
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。
**●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。**
※感電やショートして発火することがあります。
**●電源は必ず専用のコンセントからお取りください。また、コード類を束ねたまま使用しないでください。**
※発熱の恐れがあります。
**●浴室内などの高温多湿な場所や水が浸る可能性がある床面には設置しないでください。**
※木部が水を含んで腐ったり、漏電や感電の恐れがあります。

### お願い

**●直射日光が当たる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。また、スポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。**
※変色や変形の原因になります。
**●不陸が5mm/2mを超える場合は必ず壁の施工のやり直しを行ってください。**
※不陸があるまま施工するとキャビネットがひずむ場合があります。
**●洗面器表面はキズつきやすいので次の点について注意して施工してください。**
**・キャビネットや工具等の固い物をカウンター上に落としたり、乗せてひきずったりしないでください。**
**・カウンター上に乗らないでください。**
※カウンターにキズが付くと補修しても完全に元の状態には戻りません。
**●酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用して本体をふかないでください。**
※変色や変形の恐れがあります。

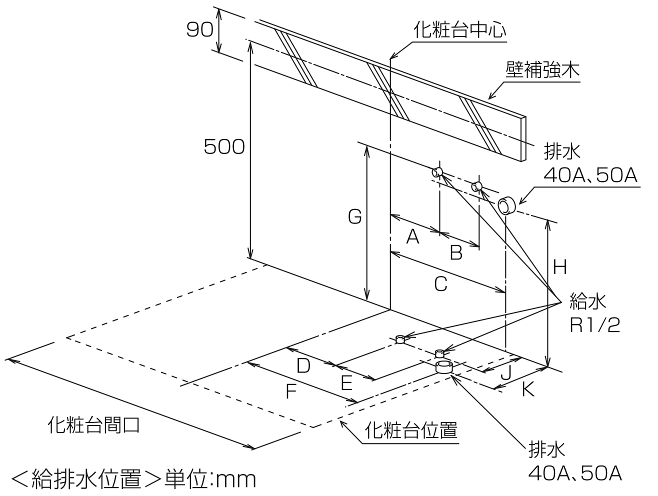
## 施工前の確認

**1. 給水、給湯の確認**
給水・給湯の条件、水栓金具の設置条件は別紙説明書（水栓金具に付属）をご覧ください。

**2. 配管工事の確認**
給水、給湯管および排水管が所定の位置に指定の給排水管仕様で取り出してあるか確認してください。

### ⚠ 注意

**湯水を逆に配管しないでください。**
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。




<給排水位置>単位:mm

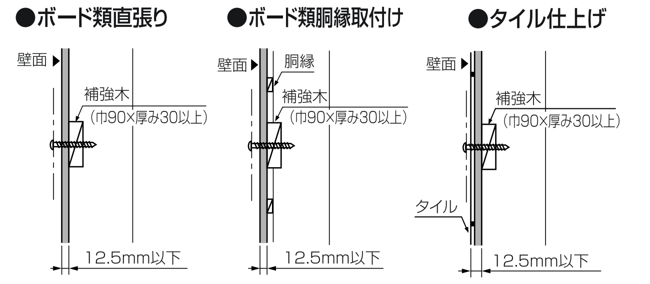
| | 標準設置時<br>即湯システム設置時 | フットスイッチ<br>設置時 | 電気温水器<br>設置時 |
|---|---|---|---|
| A | 70 | 70 | − |
| B | 120 | 120 | 190 |
| C | 280 | 280 | × |
| D | 45 | 45 | − |
| E | 120 | 120 | 165 |
| F | 270 | 270 | 270 |
| G | 360 | 330 | 300 |
| H | 350 | 350 | × |
| J | 80 | 80 | 105 |
| K | 90 | 90 | 90 |

※上記寸法は、すべての間口で共通です。

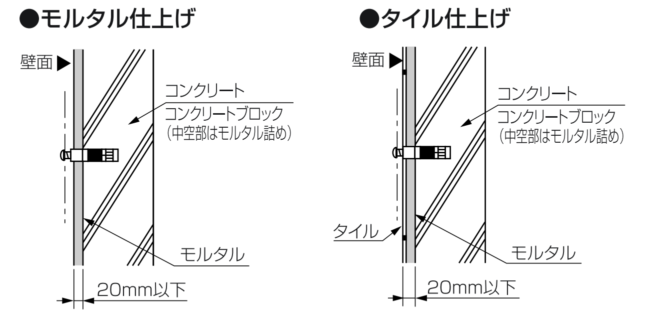
**3. 壁面工事の確認**
**〔壁材、下地材の確認〕**
●キャビネットの取付可能な壁面は右図に示す
（1）乾式壁3種
（2）湿式壁2種　の以上5種類の壁面のみです。
この説明書に記載されている以外の壁仕様（ALC壁等）には、キャビネットの取付けをしないでください。

**〔補強木、仕上材の厚みの確認〕**
●キャビネットの取付けには、乾式壁の場合、壁面に補強木（幅90mm×厚み30mm以上）が指定の位置（寸法図参照）に必ず必要です。あらかじめ建築施工の際に補強木を設けてください。直接、壁の仕上材にキャビネットの取付けはしないでください。
●補強木の柱や、間柱への取付部材（ねじ等）は、キャビネットの固定強度（乾式壁の図を参照）と同等以上になるように種類数を選定してください。
●乾式壁の場合は、補強木手前の仕上材は取付ねじを補強木に届かせるため必ずトータルの厚みで12.5mm以下のものを用いてください。
●湿式壁の場合は、AYボルトをコンクリートに届かせるため、モルタル、タイルの仕上げはトータルの厚みで20mm以下としてください。また、壁本体がコンクリートブロックの場合は、中空部をモルタル詰めにしてください。

（1）乾式壁




（2）湿式壁




※壁本体がコンクリートブロックの場合は、中空部はモルタル詰めしてください。

**4. 床面の確認**
●設置する床は水平で著しい凹凸や不陸がないことを確認してください。
●床面は強固でグラつき、たわみが生じないことを確認してください。
※キャビネットがグラついたり、取付精度（収まり）が悪くなる恐れがあります。
●キャビネット取付壁面の不陸は5mm/2m以下であることを確認してください。

## 施工方法

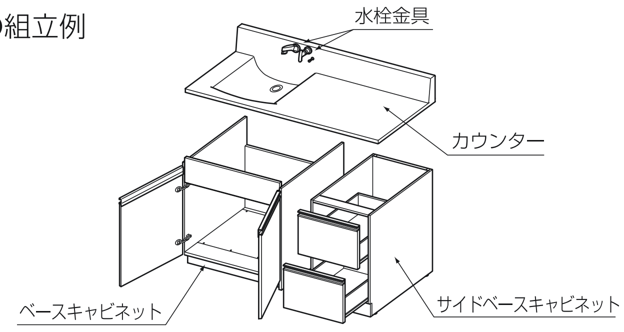
### お願い

キャビネットの扉、アルミ枠タイプの扉は表面にキズが付きやすいため、取扱いには十分注意してください。

### 1. ベースキャビネットの設置

**ワンポイント**
●ベースキャビネットと壁の間にトールキャビネットを設置する場合、トールキャビネットを先に壁に固定してください。
※ベースキャビネットを先に固定すると間口に余裕がなくなり、トールキャビネットを取り付けられなくなる恐れがあります。
●キャビネットを壁に固定する際、扉がじゃまになるときは、扉を外してねじ固定することもできます。
●キャビネットの扉着脱方法は、後述の「扉の取付方法」「扉の取外方法」をご覧ください。
●ねじ固定後は、必ず扉を取り付けてください。

●組立例

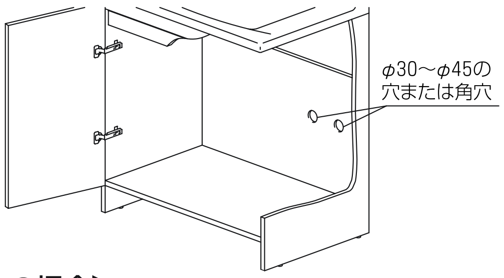



### 1) ベースキャビネットの給水管・排水管穴あけ

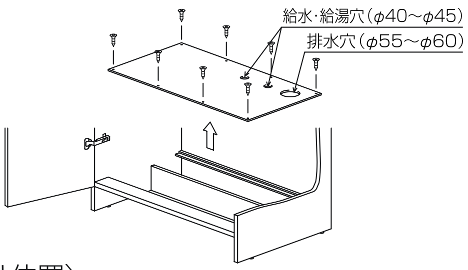
前途の「施工前の確認 2.配管工事の確認」にて指示した給水・給湯管の位置から給水・給湯管を化粧台に引き込むために、化粧台の背板部にφ30〜φ45mmの穴または角穴をカッターナイフ等であけます。

底板は着脱式になっています。ねじを外して底板を取り出し、穴あけをしてください。
(※引出しタイプの場合、着脱板を斜めにしてレールを回避して取り出してください)

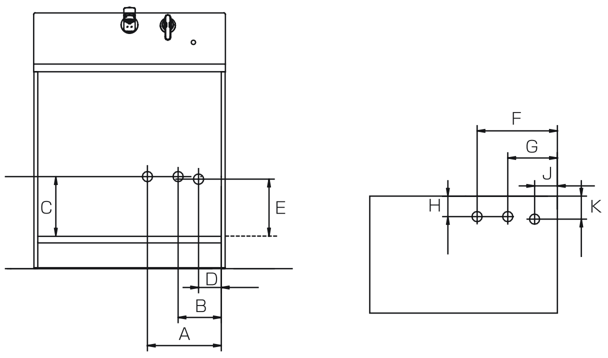
**〔壁給水の場合〕**




**〔床給水の場合〕**




〈穴あけ位置〉




※A、B、Dはキャビネット内面からの寸法です。
※C、E寸法は底板上面からの寸法です。
※F、G、H、J、Kは底板をキャビネットから取り外した状態での寸法です。

<背板、側板からの給排水位置>単位:mm

| 間口(mm) | 750 | 900 | 1000 | 1200 |
|---|---|---|---|---|
| A ※1 | 289 | 364 | 414 | 514 |
| B | 169 | 244 | 294 | 394 |
| C | 標準・即湯付:239(オープンタイプの場合:360) | | | |
| | 電気温水器付:179 | | | |
| | フットスイッチ付:209 | | | |
| D ※2 | 79 | 154 | 204 | 304 |
| E ※2 | 229(オープンタイプの場合:350) | | | |
| F ※1 | 314 | 389 | 439 | 539 |
| G | 194 | 269 | 319 | 419 |
| H | 50(電気温水器付の場合:75) | | | |
| J | 89 | 164 | 214 | 314 |
| K | 60 | 60 | 60 | 60 |

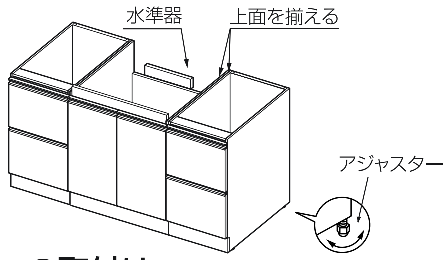
※1:電気温水器付の場合、穴不要です。
※2:電気温水器付は対応できません。

### 2) 足元温風機・フットスイッチの設置

足元温風機・フットスイッチの取付方法については、それぞれの機器の施工説明書をご覧ください。

### 3) キャビネットの設置

キャビネットのレイアウトを確認し、仮設置します。床の水平が出ていない場合は、アジャスターで調整し水準器で確認しながら水平を出してください。
※水平になっていないと、キャビネットや扉に段差が生じます。
※キャビネットの上面がそろうように設置してください。
※端のキャビネットが壁に接する場合は、壁面より設置してください。

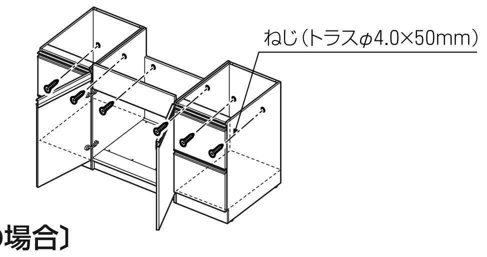



### 4) フィラーの取付け

レイアウトによりフィラーを取り付ける場合は、キャビネットの壁固定前にフィラーを取り付けてく
※詳しい取付方法は、フィラー施工説明書をご覧ください。

### 5) キャビネットの固定

仮設置した各キャビネットの内側より、ねじで壁に固定します。
●乾式壁の場合は付属のねじをご使用ください。
●湿式壁の場合は、別途手配のAYボルトKB-60T(AY)をご使用ください。
※フルオープンタイプはブラケット固定が必要です。
後述の「■フルオープンタイプの場合」をご覧ください。




**〔乾式壁の場合〕**

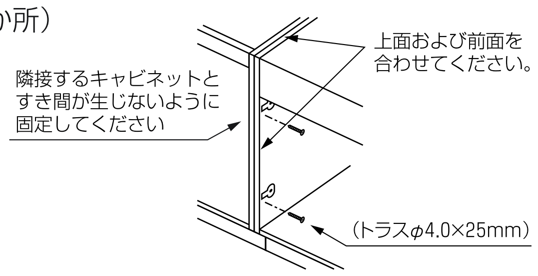
(1) キャビネットを指定位置に設置し、壁面に当てます。
(2) 扉を開き、引出しを取り出して付属のねじを用いてキャビネット背板のねじ穴から壁面にねじ固定します。

**〔湿式壁の場合〕**

(1) AYボルトの位置を確認し、位置出しをします。
(2) 壁にφ7.5の下穴をあけ、切粉をよく取り除きます。
※下穴は電動ドリルを使用し正確にあけてください。
(3) AYボルトを挿入してゴム筒を押さえてボルトを抜き取ります。
(4) キャビネットを壁面に当て、キャビネット背板のねじ穴から壁面にボルトで固定します。

### 6) キャビネットの連結

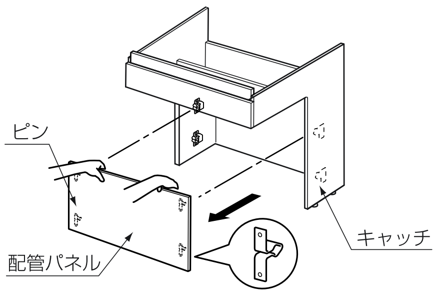
隣接するキャビネットを連結ねじ(トラスφ4.0×25mm)で固定します。
(蝶番の下方、上下2か所またはレールの上方、上下2か所)




### ■フルオープンタイプの場合

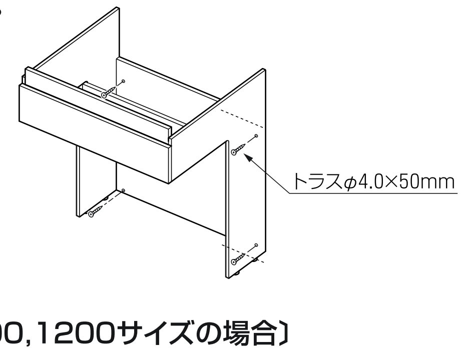
※フルオープンタイプは、壁固定する前は倒れやすい形状です。商品にキズ等が付く場合がありますので注意してください。

(1) キャビネットの配管パネルを外します。
配管パネル上部を両手で持って、手前に引きます。
上下4ヶ所のピンがキャッチから外れます。



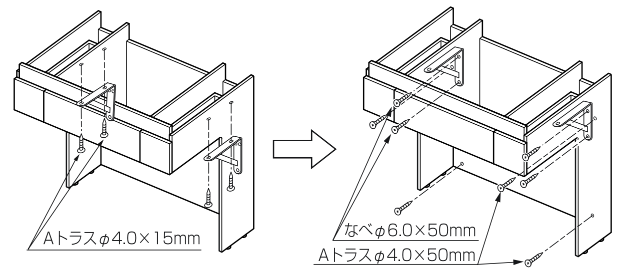

**〔750サイズの場合〕**

(2) キャビネットを指定位置に設置し、壁面に当てます。
(3) 付属のねじを用いてキャビネットの上部にある固定金具と、背板のねじ穴から壁面にねじ固定します。



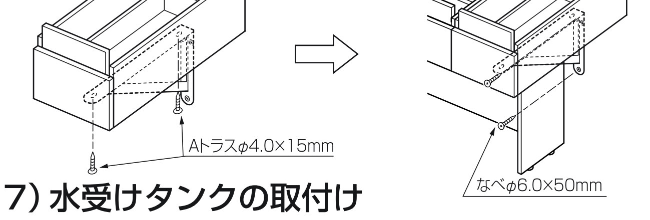

**〔900、1000,1200サイズの場合〕**

(1) 付属のブラケットを、キャビネットに下から固定します。
※キャビネットには、あらかじめ下穴があけてあります。
(2) キャビネットを指定位置に設置し、壁面に当てます。
(3) 付属のねじを用いてキャビネットの背板のねじ穴およびブラケットを壁面にねじ固定します。



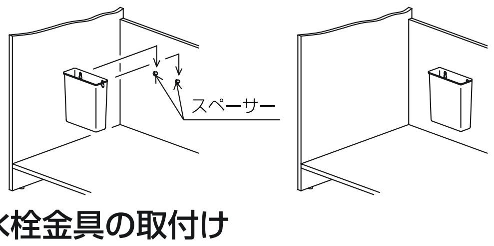

### ■小物引出しの取付け方法

(1) 付属のブラケットを、キャビネットに下から固定します。
※キャビネットには、あらかじめ下穴があけてあります。
(2) 引出しを指定位置に設置し、壁面に当てます。
(3) 付属のねじを用いてキャビネットの背板のねじ穴およびブラケットを壁面にねじ固定します。




### 7) 水受けタンクの取付け

スペーサーにタンクの丸い穴の部分を入れ、タンクを下に降ろした状態で凸部に引っ掛けて設置します。




### 8) 水栓金具の取付け

電気温水器が付くプランでは、ホースガイド、給排水の取付方法が通常と異なります。

ホースガイドについては下記を参照し、その他については、電気温水器の施工説明書を参照してください。

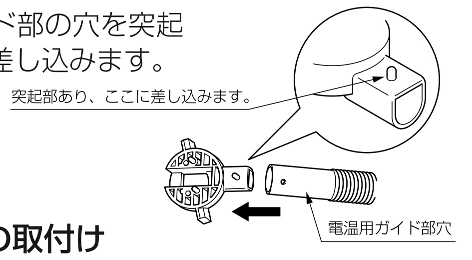
### ■電温用ホースガイドの取付け

①水栓ホースガイドのガイド部を外します。
※外したガイド部は使用しません。

株式会社INAX

お客様相談センター商品相談窓口ナビダイヤル ☎0570-017173
平日「9:00〜19:00」対応 土日・祝日「10:00〜18:00」対応(年末年始・夏期休暇は除く)
※ナビダイヤルは、PHS・IP電話などご利用できません。☎0562-31-0793をご利用ください。

②電温用ガイド部の穴を突起にあわせて差し込みます。



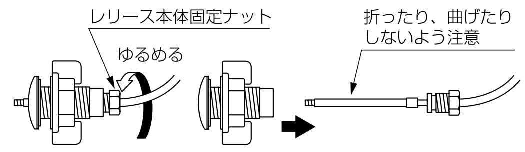

## ■水栓金具の取付け

水栓金具の取付けは、水栓金具の施工説明書をご覧ください。

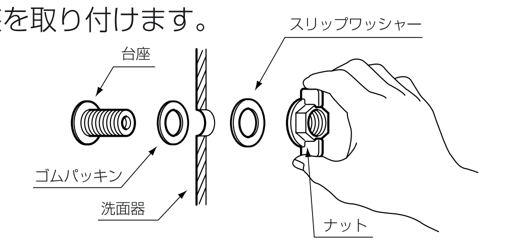
> ⚠ **注意**
>
> **水栓金具はキャビネットを壁に固定する前にカウンターに取り付けてください。**
> ※キャビネットを壁に固定した後は水栓金具の取付作業ができなくなります。

## 9) 排水器具・操作ボタンの取付け

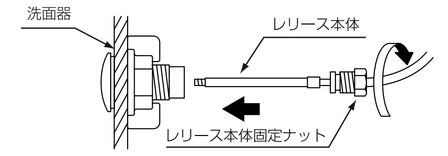
①レリース本体固定ナットをゆるめ、台座からレリースを外します。
※レリース先端を折ったり曲げたりしないようにしてください。



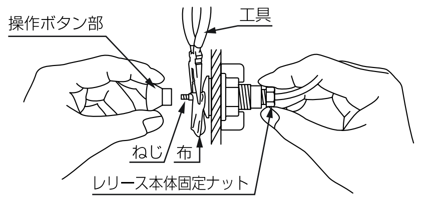

②洗面器バックガードの取付穴（φ15mm）に台座を取り付けます。




③レリース本体を台座に通し、ナットで固定します。




④レリース本体から軸を引き出し、先端のねじにボタンを取り付けます。軸が空回りしないよう、指かラジオペンチ等の工具で固定し、ねじが完全に隠れるまでボタンを締めてください。（締付トルク2N·cm {20kgf·cm} 以上）




※軸を工具で固定する場合は、軸がキズつかないよう、ウエス等を巻いて保護してください。
※ねじには乾式の接着剤（赤）が塗布してあります。ボタンを取り付けると接着剤が硬化し始めますので、一度締めたボタンは外さないでください。

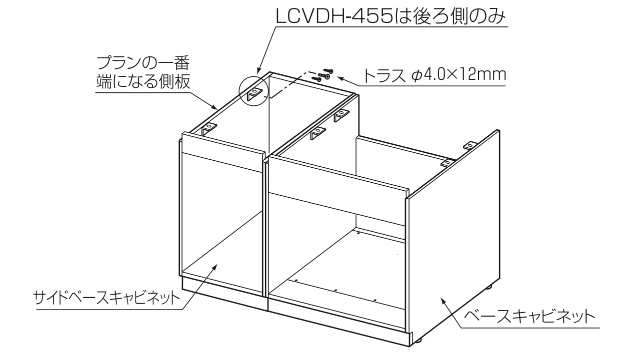
⑤洗面器の排水口に排水器具本体を取り付け、排水栓を設置します。

> ⚠ **注意**
>
> **●強く締めすぎないようにしてください。**
> ※排水口部分が破損し、漏水を引きおこす恐れがあります。
> **●ナット類は手でしっかりと締め付けてください。**
> ※締め付けが不十分だと漏水を引きおこす恐れがあります。

## 9) カウンター固定用L型金物の取付け

カウンター固定用L型金物を、左右のキャビネット側板にねじ（トラスφ4.0×12mm）で固定します。
※L型金物の取付位置には、あらかじめガイド穴があけてあります。1つのL型金物につき3本のねじで側板に固定してください。
※150サイズのサイドベースキャビネットには、あらかじめL型金物が取り付けてあります。

**●L型金物の取付位置**
ベースキャビネット：左右側板（計4ヶ所）
サイドベースキャビネット：プランの一番端に設置される時、端になる側板に2ヶ所（LCVDH-455は1ヶ所）

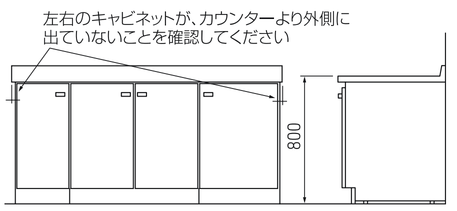



## 10) スペーサーの貼付け

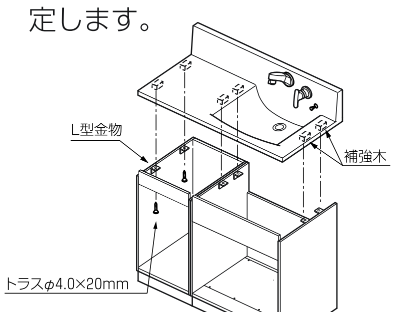
キャビネットにスペーサーを貼り付けます。
※詳しい取付方法は、キャビネットに同梱されている施工チラシをご覧ください。

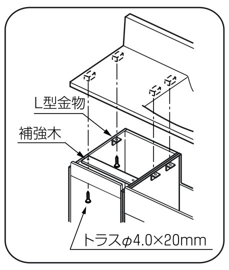
## 11) カウンターとキャビネットの固定

①カウンターを設置し、キャビネットとの収まり、カウンター高さおよび水平を確認します。




②ベースキャビネットの内側下方より、ねじ（トラスφ4.0×20mm）でカウンター裏の補強木に固定します。



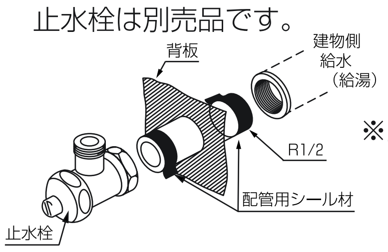

LCVDH-455の場合

③カウンター取付後、水栓金具のホースをタンクに収め、シャワーヘッドを2、3回出し入れしてホースがタンク内に収まることを確認してください。
※ホースがタンクに収まりにくい場合は、銅管の角度を調節してください。

## 12) 止水栓の取付け

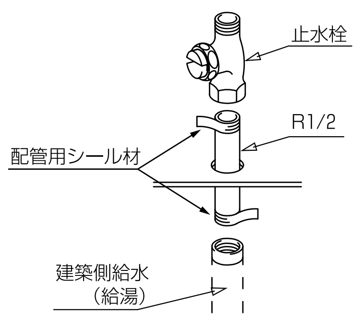
止水栓はメンテナンス·流量調整のため、取り付けてください。

**〔壁給水の場合〕**
止水栓は別売品です。




※止水栓手配品番
一般地:LF-3K-MB
寒冷地:LF-3K-MB-U

**〔床給水の場合〕**
付属の止水栓で取り付けてください。




## 13) 排水トラップの取付け

●排水トラップを図のように取り付けてください。

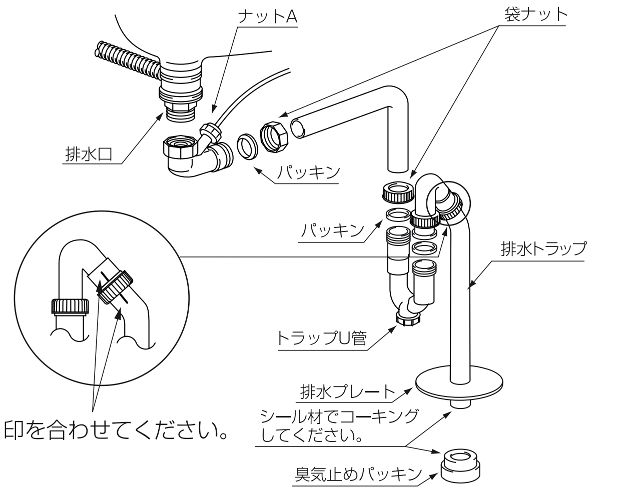
> ⚠ **注意**
>
> **横引き管が逆勾配にならないように取り付けてください。**
> ※排水能力が悪くなります。

●排水口はあらかじめ洗面器に取り付けてあります。排水口がゆるんでいる場合は、980N·cm {100kgf·cm} で締めてください。

> ⚠ **注意**
>
> **強く締めすぎないようにしてください。**
> ※排水口部分が破損し、漏水を引きおこす恐れがあります。

●排水口以外のナットは手でしっかりと締め付けてください。
●あらかじめ排水口管に袋ナット、パッキンを通し、それからトラップU管を差込部の最後まで入れてください。
※ナットAはあらかじめ取り付けてあります。ゆるんでいる場合は、手でしっかりと締めてください。

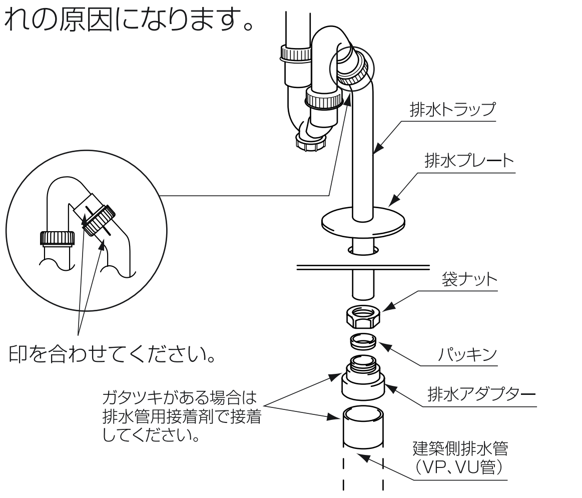
> ⚠ **注意**
>
> **ナット類は手でしっかりと締め付けてください。**
> ※締付けが不十分だと漏水を引きおこす恐れがあります。



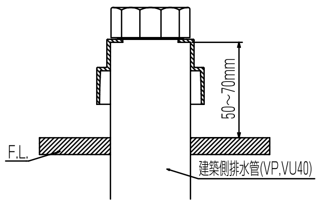

●建築側排水管には臭気止めパッキンをはめてから排水ホースを差し込んでください。臭気止めパッキンの接続部はシール材にてコーキングしてください。
※排水トラップを建築側排水管に接続する際は、排水トラップを切らずに建築側排水管に十分挿入してください。
●キャビネットの底板に排水プレートをはめてください。

> ⚠ **注意**
>
> **●排水トラップは、印を合わせて施工してください。**
> ※排水能力が悪くなります。

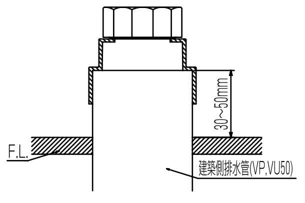
**〔床給水仕様の場合〕**
●建築側排水アダプターを接着して固定してください。
●排水プレートを排水トラップに差し込み、排水アダプター上部に差し込んでください。
※排水アダプターの上部の袋ナットをしっかりと締めてください。排水トラップのガタつきや、臭気もれの原因になります。




VP,VU40の場合

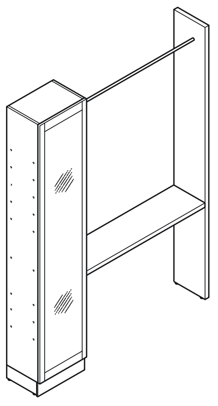



VP,VU50の場合

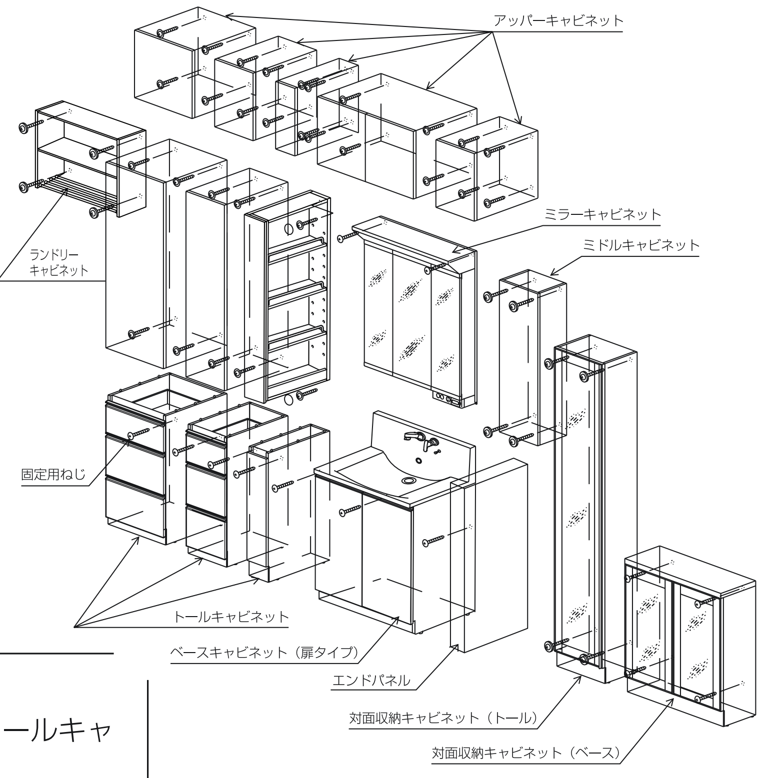



> ⚠ **警告**
>
> **建築側排水管VP.VU管の立上寸法が足りないと接着できなくなります。**

## 2. 周辺キャビネットの固定方法

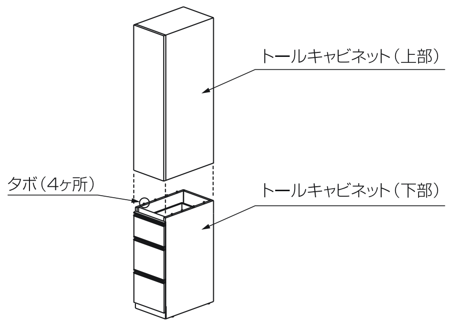


L型収納パック
（「L型収納パック施工説明書」
をご覧ください。）



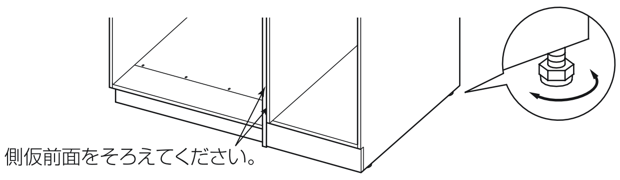

### ■トールキャビネットの固定方法

①トールキャビネット（下部）のダボにトールキャビネット（上部）をはめ込みます。

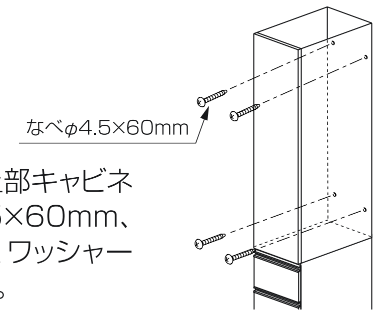



②キャビネットの側板前面を化粧台の側板前面に合わせて設置します。

※側板の前面が合わない場合、またはキャビネットが水平でない場合はアジャスターボルトで調節してください。




③キャビネットの内側より固定ねじ（ワッシャー付なべφ4.5×60mm）で壁に固定します。




※150サイズ上部キャビネットは皿φ4.5×60mm、化粧キャップ、ワッシャーで固定します。

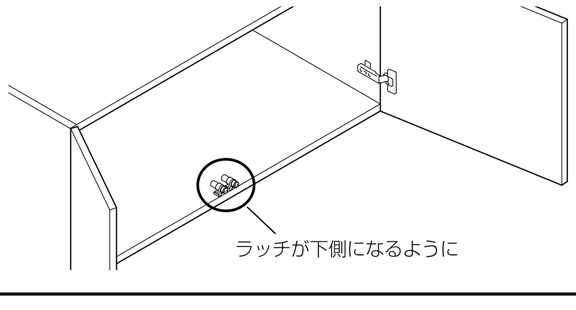
### ■ランドリーキャビネットの固定方法

キャビネットの天板をミラーキャビネットの上端に合わせて設置し、キャビネットの内側よりねじ（皿φ4.5×60mm、ワッシャー、化粧キャップ）で壁に固定します。

### ■アッパーキャビネットの固定方法

アッパーキャビネットをミラーキャビネットまたはミドルキャビネットの上に設置し、キャビネットの内側よりねじ（ワッシャー付なべφ4.5×60mm）で壁に固定します。

※プッシュラッチが下側になるように設置してください。




### ■ミドルキャビネットの固定方法

キャビネットの内側よりねじ（ワッシャー付なべφ4.5×60mm）で壁に固定します。

### ■L型収納パックの固定方法

「L型収納パック　施工説明書」をご参照ください。

### ■対面収納キャビネット（ベースタイプ）の固定方法

① キャビネットを設置します。

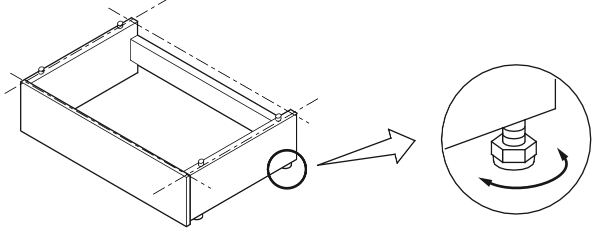
※キャビネットが水平でない場合、アジャスターボルトで調節してください。

②キャビネットの内側よりねじ（トラスφ4.0×50mm）で壁に固定します。

### ■対面収納キャビネット（トールタイプ）の固定方法

① けこみ部を床に置き、水平を確認します。

※水平でない場合、アジャスターボルトで調節してください。

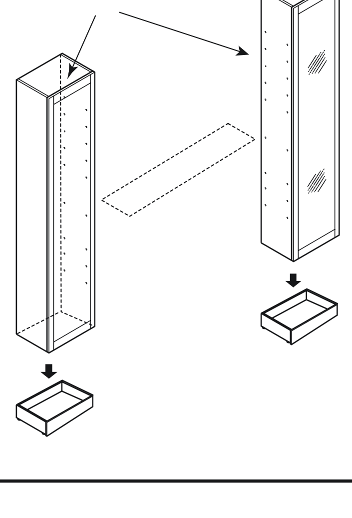


②キャビネット部の上下方向を確認して、けこみ部に取り付けます。

※キャビネットはL・Rタイプ共通です。プランに応じて上下を反転させてください。

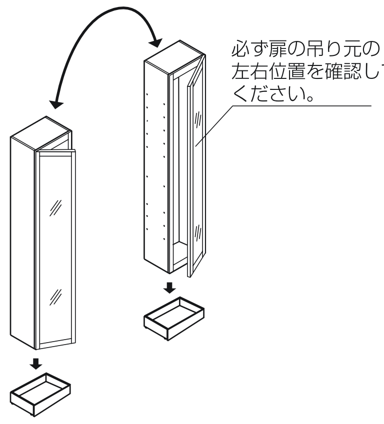
**〔棚板（BB-LCV-130）が付くプランの場合〕**

※キャビネット部のダボ穴が内側へくるように設置します。



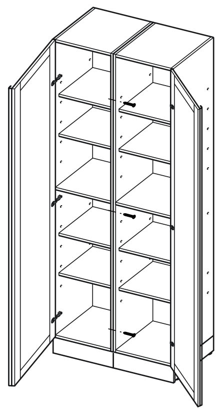

**〔キャビネットを単品で使用できる場合〕**

※プランにより、扉の開き勝手を合わせて設置します。




③キャビネットの内側よりねじ（ワッシャー付なべφ4.5×60mm）で壁に固定します。

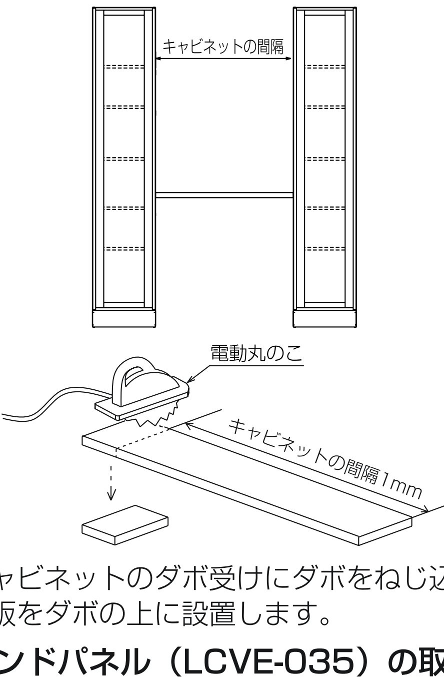
④トールタイプが2台以上隣接するプランで、キャビネット間にすき間が生じる場合は、キャビネット内側から連結用ねじ（トラスφ4.0×25mm）で連結します。（兆番の下方、上中下3か所）



### ■棚板（BB-LC-T130）の長さ調節

①キャビネットの間隔を測ります。

②棚板をキャビネットの間隔−1mmでカットします。




③キャビネットのダボ受けにダボをねじ込みます。

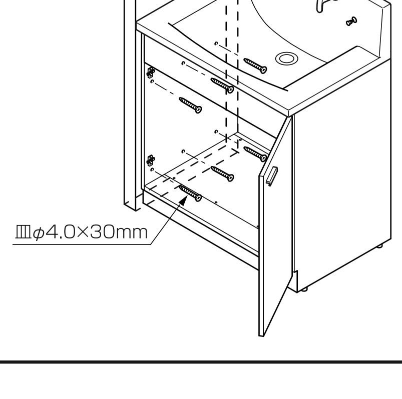
④棚板をダボの上に設置します。

### ■エンドパネル（LCVE-035）の取付け

※フルオープンタイプまたは小物引出しの場合は、後述の［フルオープンタイプ・小物引出しの場合］をご参照ください。

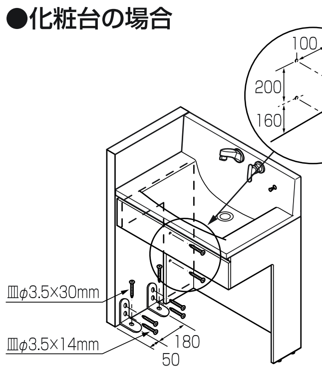
①エンドパネルを設置します。

②キャビネットの内側から、蝶番やレールを避けて、付属のねじ（皿φ4.0×30mm）で固定します。（6ヶ所）

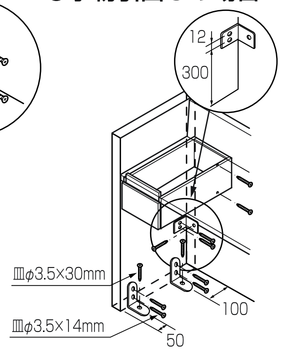


〔フルオープンタイプ・小物引出しの場合〕
①図のように、固定金具をエンドパネルにに取り付けます。
②エンドパネルを設置し、固定金具を床（小物引出しの場合は床と壁）に付属のねじで固定します。
③フルオープンタイプの場合は、下図の位置に、付属のねじ（皿φ4.0×30mm）で固定します。（2ヶ所）

**●化粧台の場合**

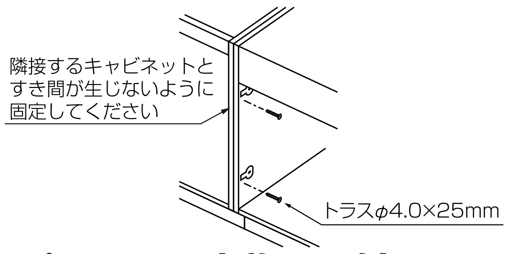



**●小物引出しの場合**




## ■キャビネットの連結

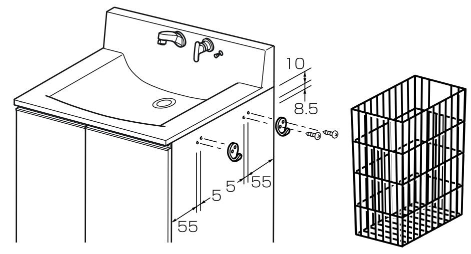
隣接するキャビネットを連結ねじ（トラスφ4.0×25mm）（アッパーキャビネットはφ4.0×30mm）で固定します。（蝶番の下方、上下2箇所）




# 3. オプション・小物の取付け

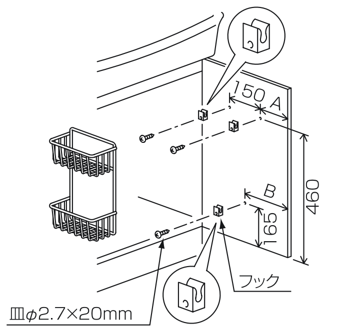
## ■サイドバスケット(BB-TD1-23)の取付け

サイドバスケットを取り付ける場合は、下図により同梱のフックを固定用ねじ(皿φ2.7×16mm)にて取り付け後引っ掛けます。




## ■扉用バスケット（BB-EX5）の取付け

扉用バスケットを取り付ける場合は、下図により同梱のフックを固定用ねじ（皿φ2.7×20mm）にて取り付けた後、バスケットを引っ掛けます。

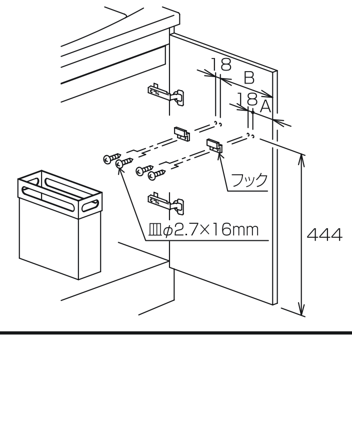



| 間口 | キャビネットタイプ | A寸法 | B寸法 |
|---|---|---|---|
| 750 | 扉タイプ | 60 | 135 |
| | 引出タイプ | 100 | 175 |
| 900 | 扉タイプ･引出タイプ | 60 | 135 |
| 1000 | | | |
| 1200 | | | |

※フルスライドタイプ･フルオープンタイプ･ランドリータイプには取り付けできません。

## ■ダストボックス（BB-EX4）の取付け

ダストボックスを取り付ける場合は、下図により同梱のフックを固定用ねじ（皿φ2.7×16mm）にて取り付けた後、ボックスを引っ掛けます。




| 間口 | キャビネットタイプ | A寸法 | B寸法 |
|---|---|---|---|
| 750 | 扉タイプ | 72 | 190 |
| | 引出タイプ | 112 | 230 |
| 900 | 引出タイプ | 72 | 190 |
| 1000 | | | |
| 1200 | | | |

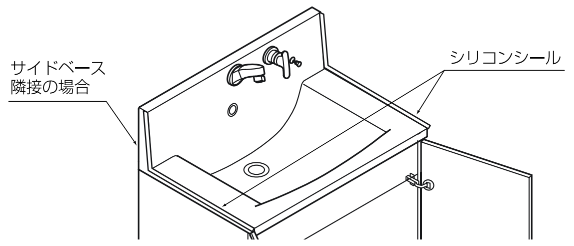
※フルスライドタイプ･フルオープンタイプ･ランドリータイプには取り付けできません。

## ■ミドルキャビネット（埋込タイプ）〈KCD-305PL〉の取付け
## ■マルチハンガー〈BB-LCV5(750)、(900)、(1000)、(1200)〉の取付け

それぞれ付属の施工説明書をご覧ください。

# カウンター周囲のシール

カウンターと壁あるいはキャビネットとの合せ部をシリコンシールします。
※Ｌ型収納パックと隣接する場合は、棚板とカウンターとの合せ部にもシリコンシールしてください。




# 施工後の確認

## ■キャビネット本体の確認

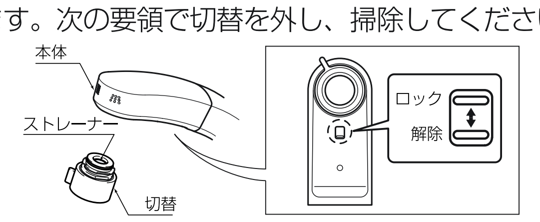
（1）キャビネットの取付ねじが十分に締まっていること、ゆるみがないことを確認します。
（2）キャビネット自体にガタツキ、壁とキャビネットとのすき間がないことを確認します。
（3）キャビネット固定用ねじのゆるみ、キャビネットのガタツキがある場合は、必ずねじ位置をかえて取り付け直します。
（4）扉のふぞろいがある場合は、後述の「扉の調節」で調節します。
（5）扉表面に養生シート(透明）が貼られている場合、シートをはがします。

## ■吐水量、排水量の確認

（1）洗面器の排水栓を閉じて水を満水にし、吐水させて洗面器から水があふれないよう（オーバーフロー能力の範囲以内）水側、湯側の止水栓の開閉をして流量の調節をします。
不用意に全開した場合の飛散を予防するため、全開時6.5L／分程度になるように湯水の止水栓を調節してください。オーバーフローまでの時間がおよそ2分30秒ほどです。
（2）排水栓を開け、水を一度に排出し、トラップ、排水管の各接続部からの水漏れのないことを確認します。

## ■スレトレーナーの清掃

水栓の切替を取り外すと、上面にストレーナーがります。次の要領で切替を外し、掃除してください。

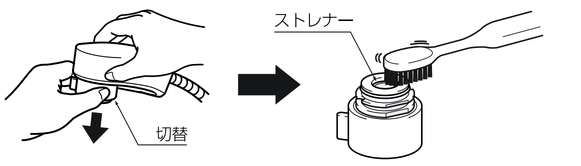



**お願い**

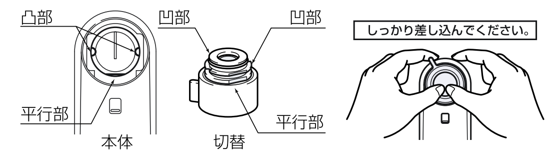
**施工後は、必ずストレーナーを掃除してください。**
**※配管内の異物が詰まり、水栓機能を低下させる恐れがあります。**

（1）切替の下にあるロックを、マイナスドライバー等でスライドさせ、解除します。
※この時カバーの穴にドライバーが当たらないように注意してください。

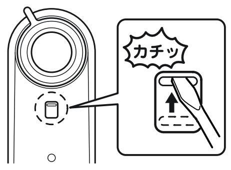
（2）吐水口切替を引っ張って取り外し、ストレーナーを掃除します。




（3）ストレーナーをはめます。（平行部・凸部・凹部を合わせてください。



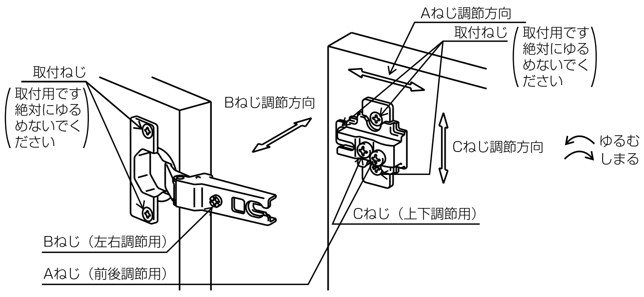

（4）（1）と逆の要領でロックします。
※固くてスライドできない場合は（3）に戻り、再度しっかり奥まで差し込んでください。



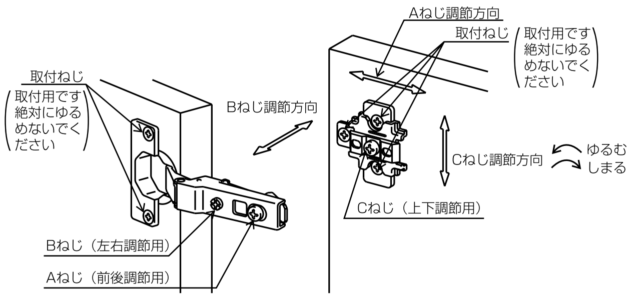

# 扉の調整（スライド蝶番ねじ固定式、ワンタッチ式）

**（1）扉の調節**

（a）洗面化粧台･サイドベースキャビネット･対面収納キャビネット（ねじ固定式）の場合




（b）ミドルキャビネット･アッパーキャビネット･トールキャビネット（ワンタッチ式）の場合



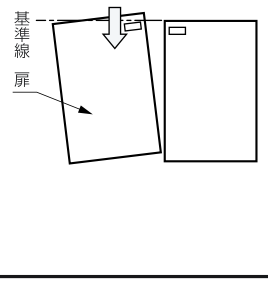

**⚠ 注意**

**調整後は必ずAねじ、Cねじが固く締め付けられていることを確認してください。**
※締付けが不足しますと蝶番がゆるみ、扉の外れ、落下によりケガをする恐れがあります。

各ねじの調整量
Aねじ…前方向2.0mm、後方向1.0mm
Bねじ…右へ回す→手前へ4mm、左へ回す→後方へ1mm
Cねじ…上方向1.5mm、下方向1.5mm

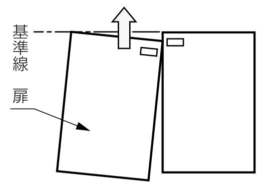
**●扉の先端が上がっているとき**

①扉上方の蝶番のBねじを右へ回して調整します。または扉下方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。
②扉を閉めて確認します。
③正しい位置になるまで①、②を繰り返します。



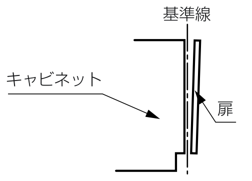
### ●扉の先端が下がっているとき

①扉下方の蝶番のBねじを右へ回して調整します。または扉上方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。
②扉を閉めて確認します。
③正しい位置になるまで①、②を繰り返します。



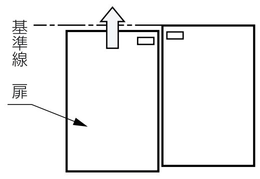

### ●扉と側板のすき間が上下異なるとき

①扉上方の蝶番のAねじを左へ回してゆるめ、扉を動かして前後の正しい位置にします。
②正しい位置でAねじを右へ回して締め付けます。




### ●扉の位置が上下異なるとき

①扉の上下の蝶番のCねじを左へ回してゆるめ、扉を上下させて正しい位置にします。
②正しい位置でCねじを右へ回して締め付けます。

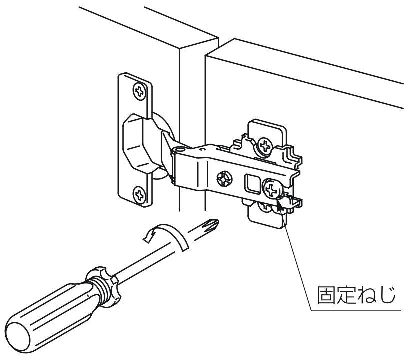



## アドバイス

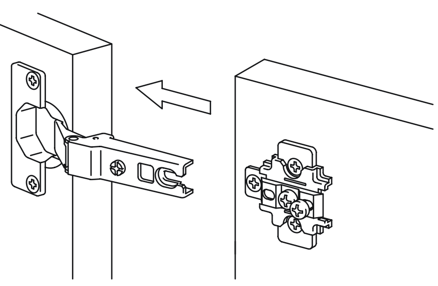
**●Aねじ、Bねじ、Cねじは扉を取り付けたままで調節できます。**
**●2枚扉（両開き）の場合で、片方の扉だけで調節できないときは、左右の扉で交互に調節を行ってください。**

### （2）扉の取外方法

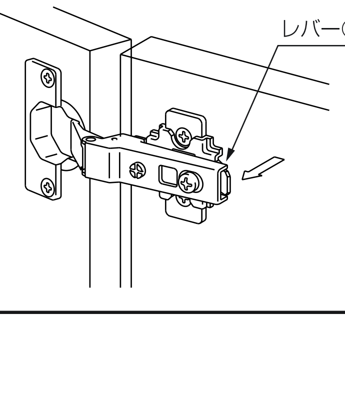
（a）洗面化粧台・サイドベースキャビネット・対面収納ベースキャビネット（ねじ固定式）の場合
①固定ねじをドライバーでゆるめます。



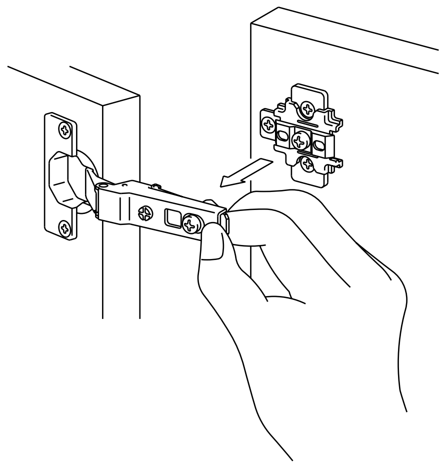

②扉を矢印の向きに引っ張って、取り外します。



(b) ミドルキャビネット・アッパーキャビネット・トールキャビネット（ワンタッチ式）の場合
①蝶番のレバーⓒを矢印の向きに引っ張ります。

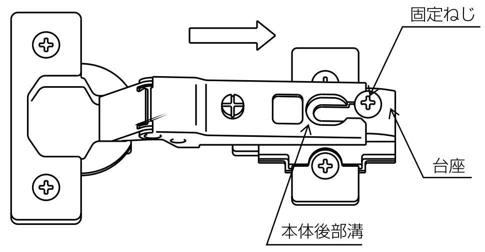



②蝶番を矢印の向きに引っ張って、取り外します。

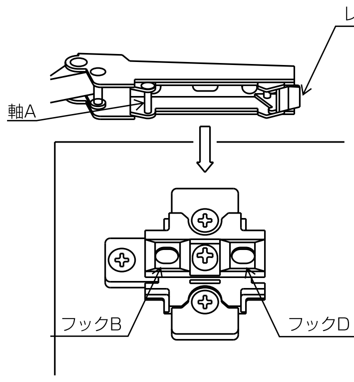


### （3）扉の取付方法

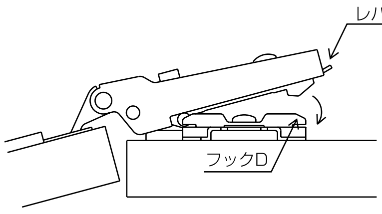
（a）洗面化粧台・サイドベースキャビネット・対面収納ベースキャビネット（ねじ固定式）の場合
①本体後部溝を台座固定ねじに差し込み、固定ねじを締め付けます。



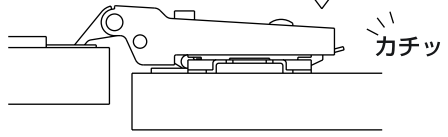

（b）ミドルキャビネット・アッパーキャビネット・トールキャビネット（ワンタッチ式）の場合
①蝶番の軸Ⓐを、フックⒷに引っ掛けます。




②蝶番のレバーⓒを、フックⒹに合わせます。




③蝶番を矢印の向きに「カチッ」と音がするまで押します。



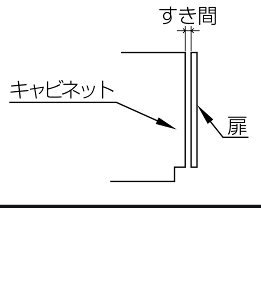

## ⚠ 注意

**蝶番が確実に結合していることを確認してください。**
※結合が不十分ですと扉の落下によりケガをする恐れがあります。

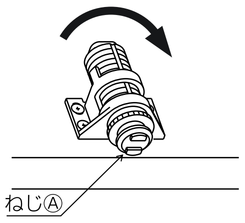
## プッシュラッチの調節

### アッパーキャビネット・ミドルキャビネット・トールキャビネットの場合

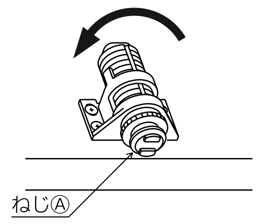
**（1）扉と本体のすき間を確認します。**
基準値：すき間2mm



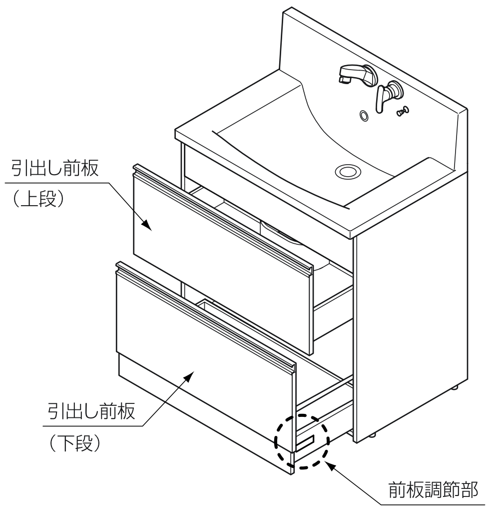

●扉のすき間が大きい場合。
プッシュラッチのねじⒶを右に回します。



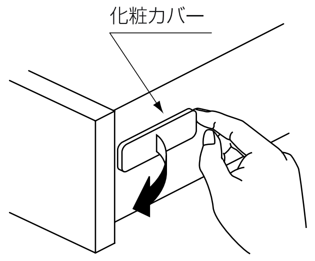

●扉のすき間が小さい場合。
プッシュラッチのねじ Ⓐを左に回します。

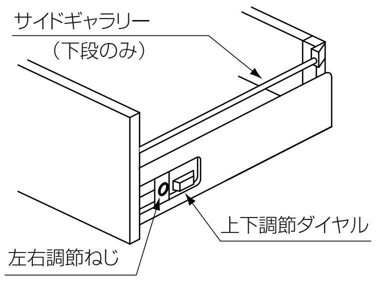



## 引出し前板の調節（フルスライドタイプ）の場合



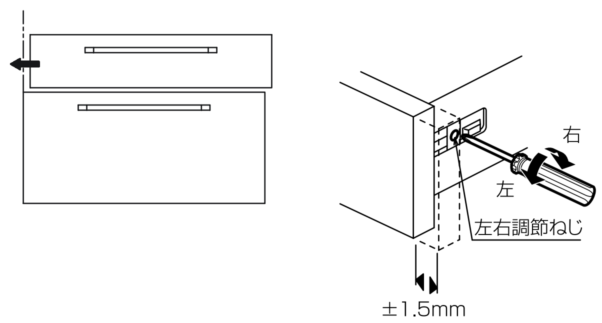

前板調節部には化粧カバー（グレー）が付いています。調節を行うときは化粧カバーを外してください。調節後は元通り化粧カバーをはめてください。



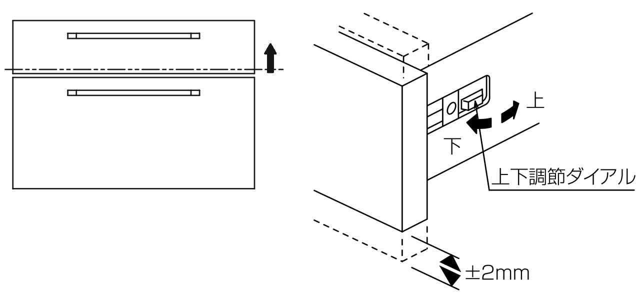

### （1）引出前板の調節

**●左右に傾いているとき**



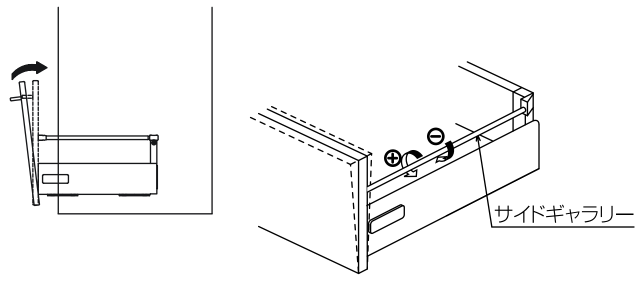

引出し本体の右側にある、左右調節ねじを回し調節します。
・右へ移動する場合：ねじを右へ回す
・左へ移動する場合：ねじを左へ回す
※調節範囲：左右方向へ各1.5mm（計3mm）程度

**●上下に傾いているとき**



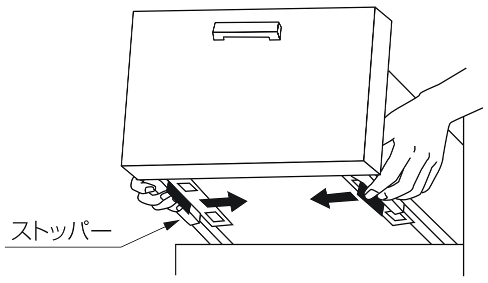

引出し本体の左右にある、上下調節ダイアルを回し調節します。
・上へ移動する場合：ダイアルを右へ回す
・下へ移動する場合：ダイアルを左へ回す
※ 調節範囲：左右方向へ各2mm（計4mm）程度

**●前板が前後に傾いているとき**
（サイドギャラリー付引出しのみ対応）




上図のように、サイドギャラリー（パイプ部）を回し、前板の傾きを調節します。
・前板を手前に倒す場合：左へ（前板正面から見て）回す
・前板を後方へ倒す場合：右へ（前板正面から見て）回す

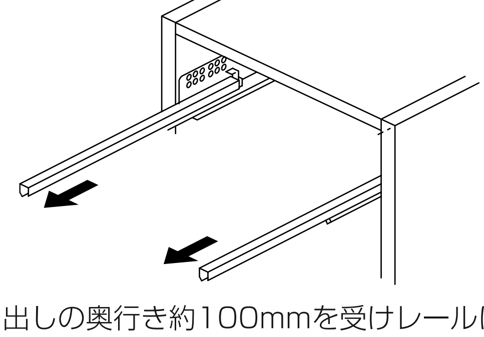
**（2）引出しの取外方法**



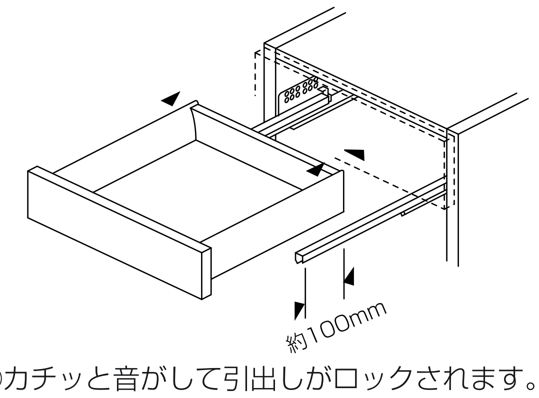

①引出しを最後まで引き出します。
②引出し側板部の手前下側にある樹脂ストッパー（グレー色）を内側に押しながら引出しを持ち上げます。
※ ストッパーは左右同時に押してください。

**（3）引出しの取付方法**

①キャビネット本体側の受けレールを手前に引き出します。



②引出しの奥行き約100mmを受けレールに載せ、引出しを奥まで押し込みます。

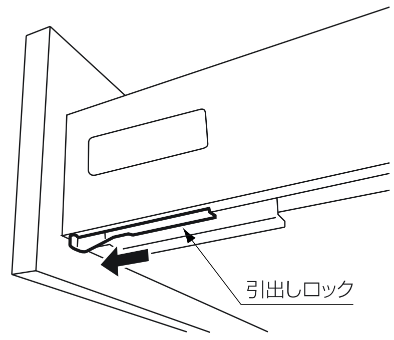



③カチッと音がして引出しがロックされます。

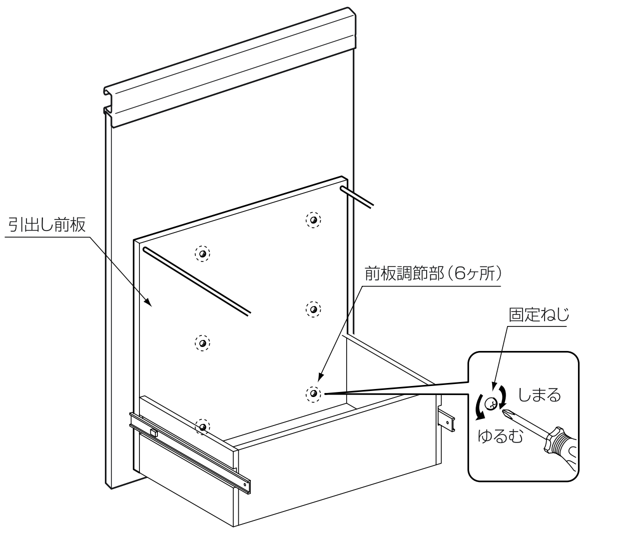
**⚠ 注意**

**●引出しを取り付けた後は、数回引出しを開閉させ正確に取り付けられている（ガタつき、異音がしないか）ことを確認してください。また、引出しを持ち上げても外れないことを確認してください。**
※正確に取り付けられていないと、引出しが使用中に外れてケガをする恐れがあります。

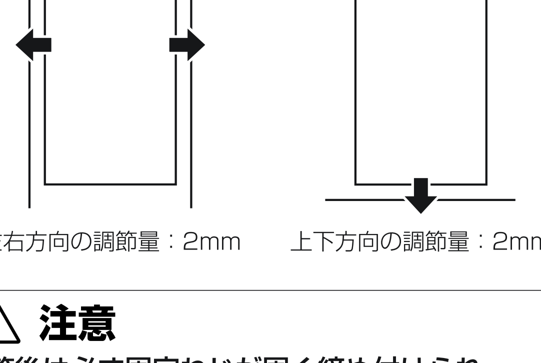
**●引出し裏側の引出しロック（白色）が手前まで確実に押し込まれていることを確認してください。**
※正確に取り付けられていないと、引出しが使用中に外れてケガをする恐れがあります。




## 引出しの調整方法（ベースキャビネット（フルオープンタイプ（900、1000サイズ）／ランドリータイプ）、小物引出しの場合




**●引出し前板を左右方向、上下方向へ調節するとき**
①前板調節部の固定ねじ2か所をゆるめます。
②引出し前板を上下左右に動かして正しい位置にします。
③①でゆるめた固定ねじを固く締め付けます。

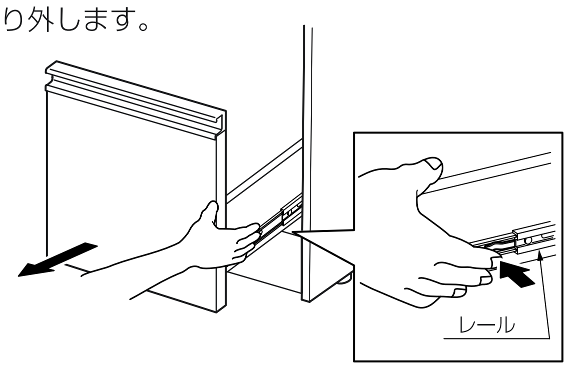


左右方向の調節量：2mm　上下方向の調節量：2mm

**⚠ 注意**
**調節後は必ず固定ねじが固く締め付けられていることを確認してください。**
※締付けが不足しますと引出しの外れ、落下によりケガをする恐れがあります。

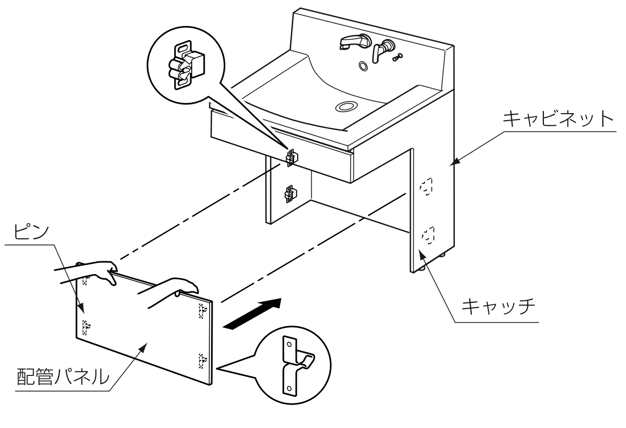
## 引出しの取付・取外方法（ランドリータイプキャビネット・トールキャビネット（250・300サイズ上段、450サイズ））の場合

①引出しを手前いっぱいに引き出します。
②引出し両サイドのレールの青い部分を指で押さえながらさらに手前に引き、レールから引出しを取り外します。

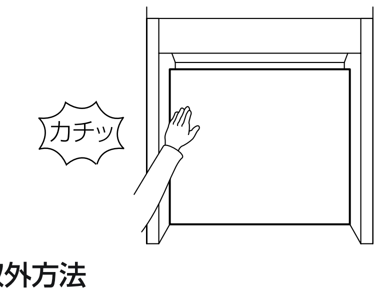



## 配管パネルの取付・取外方法（オープンタイプキャビネットの場合）

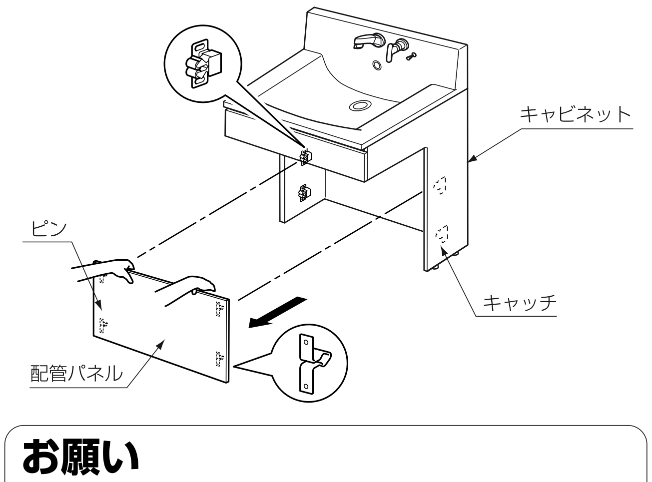
**（1）取付方法**
①配管パネル裏面のピン（4か所）とキャビネット側面のキャッチの位置を合わせます。




②配管パネル表面側から、ピンの上を手で押し込み、キャッチにピンをはめ込みます。
※キャッチにピンがはまり、「カチッ」と音がしたことを確認してください。




**（2）取外方法**
配管パネル上部を両手で持って、手前に引きます。上下4か所のピンがキャッチから外れます。




**お願い**
**配管パネルの取付け・取外しの際は、無理な力で引っ張ったり、たたいたりしないでください。**
※キャッチやピンが破損し、取付け・取外しが困難になる恐れがあります。